

昭和工業株式会社

環境活動レポート

初回・トライアル

活動期間

自： 2015年01月01日
至： 2015年03月31日



作成日

2015年04月27日

目	次
1.組織の概要	．．． 2
2.対象の範囲（認証・登録範囲）	．．． 3
3.環境方針	．．． 4
4.環境目標 及び 実績	．．． 5
5.環境活動計画の取組結果とその評価	．．． 6
6.次年度の取組内容	．．． 7
7.環境関連法規等の遵守状況	．．． 9
8.代表者による全体評価と見直しの結果	．．． 9
9.取組事例紹介	．．． 10
10.環境関連データ	．．． 15

1. 組織の概要

(1) 事業者名・及び代表社名

昭和工業株式会社

代表取締役社長 生島 一男

(2) 所在地

埼玉県草加市住吉 2丁目1番6号

(3) 環境管理責任者氏名・連絡先

代表取締役社長 生島 一男

TEL 048-922-3333 FAX 048-927-4557

(環境管理担当者)

生産部検査課 杉山 孝之

TEL 048-922-3394 FAX 048-927-1488

(4) 事業内容

産業用各種繊維基材への高分子加工、設計、開発、販売

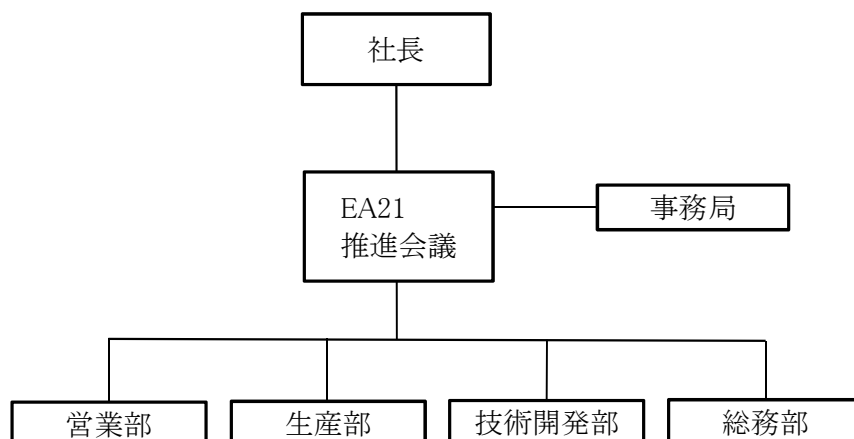
- ・ 研磨基布コーティング樹脂加工
- ・ タイヤ基布特殊樹脂加工
- ・ 音響機器基布コーティング樹脂加工
- ・ その他産業用資材樹脂加工

(5) 事業の規模

- | | |
|----------|----------------------|
| ・ 資本金 | 2,000万円 |
| ・ 設立 | 昭和9年（1934年）11月03日 |
| ・ 年間加工数量 | 832万m（2015年03月31日現在） |
| ・ 従業員数 | 45名（2015年03月31日現在） |
| ・ 敷地面積 | 8,605㎡ |
| ・ 作業場面積 | 6,065㎡ |

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

- 全社・全事業活動が対象
- エコアクション21推進組織図



- 役割・担当

担当	役 割
環境管理責任者 （社長兼務）	環境方針を策定する。
	EA21の遂行に必要な資源（人、物、資金）を用意する。
	EA21の取得状況を評価し、見直し、必要な指示を行う 環境マネジメントシステムの監視。
EA21推進会議 （管理職）	上半期、下半期に開催し、実施状況の確認及び対応を検討する。
	各担当部門の環境教育を行う。
	各担当部門の環境活動計画の実行。
	環境活動レポートの作成。
EA21事務局 （環境管理担当者）	環境マネジメントシステムの運営全般。
	環境関連の全体的な把握の為にデータの取り纏めを行う。
	社外からの環境に対する苦情の等の受付と対応を行う。
	適時、事務室・現場等の運用パトロールを実施する。
社員	環境関連法規についての遵守把握と対応を行う。
	環境方針の理解と認識。 決定事項の遵守と、積極的な環境保全活動の参加。

3. 環境方針

（企業理念）

昭和工業は、技術開発と品質向上に日々努め、お客様の求める「より良い製品」「優れた技術」そして「誠意あるサービス」を提供することを企業理念としております。また、企業の社会的責任を果たし皆様の信頼を得て、より健全な企業の発展を目指してまいります。

昭和工業は製造業としての事業活動のあらゆる面において環境に優しい活動を推進いたします。

（環境基本方針）

当社は産業用基布のコーティング製品の開発・製造・販売に於いて、環境保全が重要な課題であることを認識し、製造環境の改善、環境負荷の逡減に努め、環境マネジメントシステム（エコアクション21）に基づいて環境保全活動に取り組みます。

1. 当社は環境関係法規制を認識し、同意した其の他要求事項を遵守します。
2. 環境マネジメントシステムおよび環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善向上につとめます。
3. 当社は重点項目として次のことを、事業活動をとおして環境負荷の逡減に努めます。
 - （1） 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - （2） 省資源を推進し廃棄物の排出量を削減します。
 - （3） 水資源の有効利用のため、排水の削減に努めます。
 - （4） 化学物質を適正に管理し可能な限り削減に努めます。
 - （5） 事務用品等のグリーン購入を推進します。
 - （6） 不良品の削減および不良品発生率の低減をします。
4. 社員研修を進め、社員の環境保全への意識の向上に努めます

2014年09月01日制定

代表取締役社長

生島 一男

4. 環境目標 及び 実績

※ 生産数量に応じて環境負荷が増減する項目については生産数量1000m当たりの量を指標として用いる。

○ 電力の削減

		排出係数	
基準値	電力量	153.8 kWh/km [※]	(2014年度上期実績値)
	CO ₂ 量	80.8 kg-CO ₂ /km [※]	
目標値	電力量	152.3 Nm ³ /km [※]	(基準値の99%)
	CO ₂ 量	79.9 kg-CO ₂ /km [※]	
実績	電力量	152.7 Nm ³ /km [※]	CO ₂ 量は目標達成
	CO ₂ 量	67.9 kg-CO ₂ /km [※]	

○ ガスの削減

基準値	ガス量	90.0 Nm ³ /km [※]	(2013年度実績値)
	CO ₂ 量	4.62 kg-CO ₂ /km [※]	
目標値	ガス量	89.1 Nm ³ /km [※]	(基準値の99%)
	CO ₂ 量	4.57 kg-CO ₂ /km [※]	
実績	ガス量	82.6 Nm ³ /km [※]	目標達成
	CO ₂ 量	4.24 kg-CO ₂ /km [※]	

○ 廃棄物の削減

・ 一般廃棄物

基準値	搬出量	1.176 kg/km [※]	(2013年度実績値)
目標値	搬出量	1.170 kg/km [※]	(基準値の99.5%)
実績	搬出量	1.138 kg/km [※]	目標達成

・ 産業廃棄物

基準値	搬出量	13.918 kg/km [※]	(2013年度実績値)
目標値	搬出量	13.779 kg/km [※]	(基準値の99.5%)
実績	搬出量	13.169 kg/km [※]	目標達成

○ 水使用量の削減

・ 工業用水量

基準値	受水量	208,150 m ³	(2013年度実績値)
目標値	受水量	197,743 m ³	(基準値の95%)
実績	受水量	188,080 m ³	目標達成

・ 上水道量

基準値	受水量	645 m ³	(2013年度実績値)
目標値	受水量	613 m ³	(基準値の95%)
実績	受水量	619 m ³	目標未達

○ グリーン購入

・ グリーン購入比率

基準値	購入比	43.6 %	(2013年度実績値)
目標値	購入比	45.0 %	(基準値の95%)
実績	購入比	45.4 %	目標達成

5. 環境活動計画の取組結果とその評価

項 目	評価	内 容
-----	----	-----

○ 電力の削減

不必要時の照明消灯の徹底	○	巡回確認
倉庫・トイレ等使用時のみの点灯の徹底	○	巡回確認
室内温度の徹底管理	○	巡回確認
照明機器の清掃 及び 古い機器のLED化	○	2箇所をLED化
新電力へ切り替えて二酸化炭素排出量削減	○	11月に切替
(総合評価)		
なかなか3ヶ月で、成果をあげるのはむずかしい。ひとつひとつ目標の課題を実施し、少しずつでも結果に結び付けたい。		

○ ガスの削減

ガス機器点火からスタートまでの時間の適正化	○	アイドリングタイムの削減
ボイラー使用時間の適正化	○	点火消火時間を記録し確認
(総合評価)		
作業員に声かけすることによって、ボイラーの省エネに対する、機運が高まったことがよかったと思う。		

○ 一般廃棄物

ダンボール分別の推進	○	今期220kg分別し再資源化
簡易包装のものを優先的に購入	▲	該当なし
コピー機リセットの推奨	○	掲示した
(総合評価)		
累計では目標は達成できたが、単月では2,3月で目標が未達だった。一般廃棄物については、増減の原因が不明なところが多い為、引き続き分析し、判明した時点で対策を検討したい。		

○ 産業廃棄物

耳カット幅の削減	○	製品の耳カット幅を狭くした
産廃最終処分場の確認	▲	日程の調整がつかず
(総合評価)		
当社から排出される産業廃棄物のうち、一番大きいウェイトを占めるもののひとつが「耳カットクズ」であるので、それを改善することで、産業廃棄物の削減が達成できた。最終処分先については、中間処理会社に問い合わせているが、日程の調整ができていない。引き続き打診する。		

凡例	○	・・・ 目標達成
	▲	・・・ 課題が残ってる
	×	・・・ 実施できなかった

項 目	評価	内 容
○水の削減		
工業用水受水量の削減	○	バルブを絞り削減
現場の洗浄水の削減	▲	ホース先端にコックを装着する
節水の呼びかけ	○	掲示した
(総合評価)		
弊社工業用水は、契約で水量が、決まっているので、水使用量削減しても、金額には反映しません。しかし、工業用水量が増えれば、下水道排水量も、増えます。結果は、支払い金額増に、なると考えております。特に、真夏の湯水時期は、減水通知もあり、節水する事になります。日常から、節水を習慣にして頂ければ良いので、皆さんへ呼びかけをしていきます。		
○化学物質の適正管理		
SDSによりPRTR法該当の確認	○	最新版の入手を開始
保管場所の周知、徹底、適正保管	○	保管場所の適正確認、表示のチェック
(総合評価)		
SDSによるPRTR法該当の確認はメーカーに取り寄せを開始したばかり、保管場所の管理は今のところ問題ないが引き続き監視していく。		
○グリーン購入		
グリーン購入の推進	○	目標達成
(総合評価)		
文房具等でグリーン化比率の努力をした。5&7月の高比率が寄与した。名刺について発注先に尋ねたところ、再生紙およびグリーンマーク等は普通紙よりコストが高く、近年、偽造再生紙が環境業界で問題になっていることもあり、再生紙名刺に対しては謝絶状況で、普通紙名刺の使用を継続する。		
○製品のサービス		
巻ロールの清掃、管理	○	巻ロールのガムテープを除去
メンテナンスの推進	○	ニップル交換、ネジ増し締め
包装資材の簡易化	○	2社を簡易化
(総合評価)		
10号機巻き取りで、除去原因の1つ、木ロールへの、ガムテープ付着跡でした。皆さんにきれいにしてもらいました。別の原因が複数あり。製品ロール止めテープを横に張ったり試行してきました。除去数量は、減りませんでした。出来そうな事から、実行していきたいと思います。営業部の協力で、2社簡易包装がH26年11月/H27年3月スタートしました。メンテナンス強化して、修理部品長期的な確保 消耗品ロングライフ目指して、注油部品交換の実施してきました。継続していきます。		

6.次年度の取組内容

次年度の取組は、今年度（トライアル）の内容を基本的に踏襲し、実施する。

項 目	内 容
・ 電力の削減	
不必要時の照明消灯の徹底	週1回程度巡回しチェックする
倉庫・トイレ等使用時のみの点灯の徹底	〃
室内温度の徹底管理	使用状況をチェック、監視
照明機器の清掃 及び 古い機器のLED化	電気の日（月1回）に清掃
・ ガスの削減	
ガス機器点火からスタートまでの時間の適正化	アイドリングタイムの削減
ボイラー使用時間の適正化	点火消火時間を記録し確認
・ 一般廃棄物	
ダンボール分別の推進	引き続き分別廃棄の推進
簡易包装のものを優先的に購入	購買品で簡易包装のものを優先
コピー機リセットの推奨	コピーミスを減らす
・ 産業廃棄物	
耳カット幅の削減	製品の耳カット幅を狭くする
産廃最終処分場の確認	中間処理会社に打診する
・ 水の削減	
工業用水受水量の削減	バルブを絞り削減
現場の洗浄水の削減	ホース先端にコックを装着する
節水の呼びかけ	掲示で啓蒙する
・ 化学物質の適正管理	
SDSによりPRTR法該当の確認	最新版を入手する
保管場所の周知、徹底、適正保管	保管場所の適正確認、表示のチェック
・ グリーン購入	
グリーン購入の推進	購入比率45.5%が目標
・ 製品のサービス	
メンテナンスの推進	ニップル交換、ネジ増し締め
包装資材の簡易化	客先に打診をする

7.環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規について違反はありません。また、過去3年間、関係機関等からの指導及び訴訟等はありませんでした。

・当社に適用される主な環境関連法規

法規名等	評価	対象
廃棄物処理法	○	一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理廃棄物
騒音規正法	○	コンプレッサー
振動規正法	○	コンプレッサー
悪臭防止法	○	煙突排気
下水道法、市下水道条例	○	下水道
グリーンリサイクル法	○	事務用品の購買
資源有効利用促進法	○	廃パソコン

8.代表者による全体評価と見直しの結果

EA21取得に当り活動計画は全社員が少し努力すれば達成出来る計画とした為一部項目を除き達成出来た。今後も同方針で挑み達成した喜びを味わいながら上からの押し付けではなく全社員が当社の置かれた厳しい立地条件を認識して自らが積極的に活動出来るような体制にして行きたい。

スタート間もなく、現実の一部の社員の活動となっており全社員にどう浸透させて行くか、焦らず、じっくり考えていく。

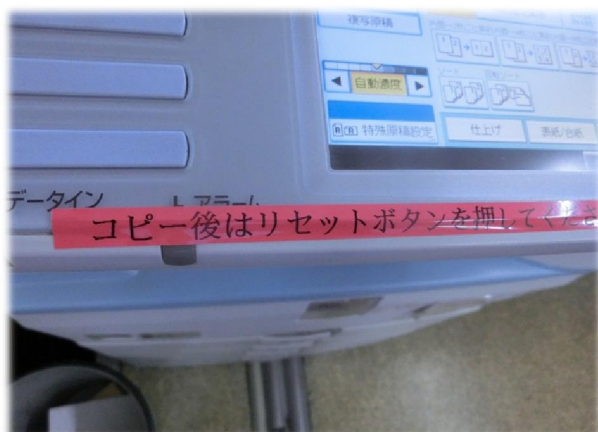
（自宅の電気はこまめに消灯するが、会社の消灯には無関心）

まずは各自の意識を変えることから始めよう。

9.取組事例紹介

○ 蛍光灯に個別スイッチを設置

蛍光灯に個別のスイッチを設置した。
使用していないスイッチを切ることで
節電する。

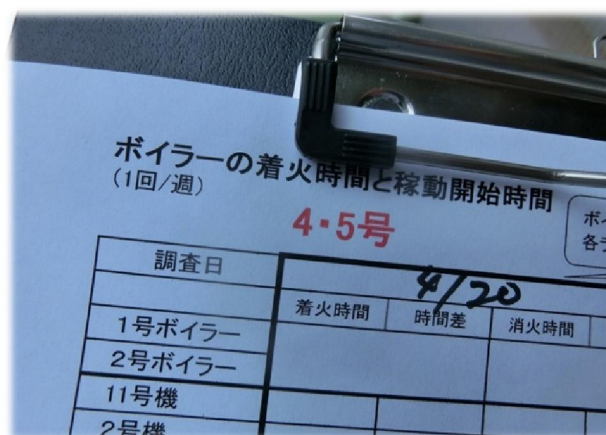


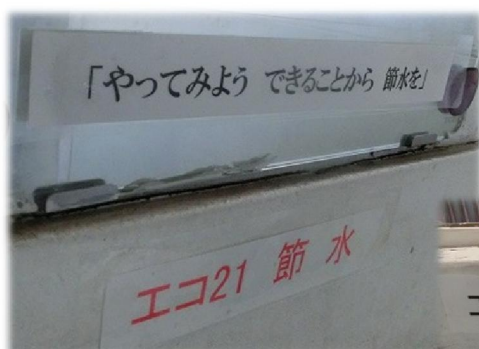
○ コピー機にリセットする旨の表示

コピー後のリセットを呼びかけ
次の人のコピーミスを防ぐ
ことで、紙の無駄を省く。

○ ボイラー稼働時間の管理

ボイラの点火消火時間の記録を
取り、適正な稼働時間を判断し
省エネに努める。





○ 節水の呼びかけ

トイレに節水を呼びかける掲示をした。



○ ポンプスイッチの設置

構内で薬品が流出し、雨水流路に流入した際に、敷地外への流出を防ぐ目的で、雨水経路上のポンプにスイッチを設置し、緊急時に速やかにOFFできるようにした。



ポンプのホースを交換することで、流出した薬品を回収できるように改造を行った。



○ 薬品漏洩対応の教育訓練

緊急時に、どのように対処をすべきか、関係者を集めて教育を行った。
(H27.04.15実施)



教育訓練開始。全員集合。



「ここに緊急時の対応方法が
書いてあります。」



「このスイッチでポンプが止まります」



「この経路に薬品が入ると、まずいです」



「あっちの倉庫に土嚢があります」



「みなさん、おつかれさま」

○ 看板の設置

エコアクション21の導入に伴い、法律の遵守状況を確認した結果、表示の破損や不十分なものがあったので、交換した。



- ・アイドリングストップ
(埼玉県生活環境保全条例による)

- ・廃棄物置き場の表示
(廃棄物処理法による)



○ ダンボール置き場の設置 分別開始に併せて新設した。



- 薬品置き場の管理
SDSを掲示し、安全と管理を徹底する。

○ 排気処理機の管理、維持

製品の加工中に発生する排気の臭気を落とす大切な装置で、現在、大小7台を設置。
この装置が止まったり、能力が落ちたりすることが無いように管理し維持している。



・ 2号機系統の処理機



・ 1号機系統の処理機



・ 10号機系統の処理機

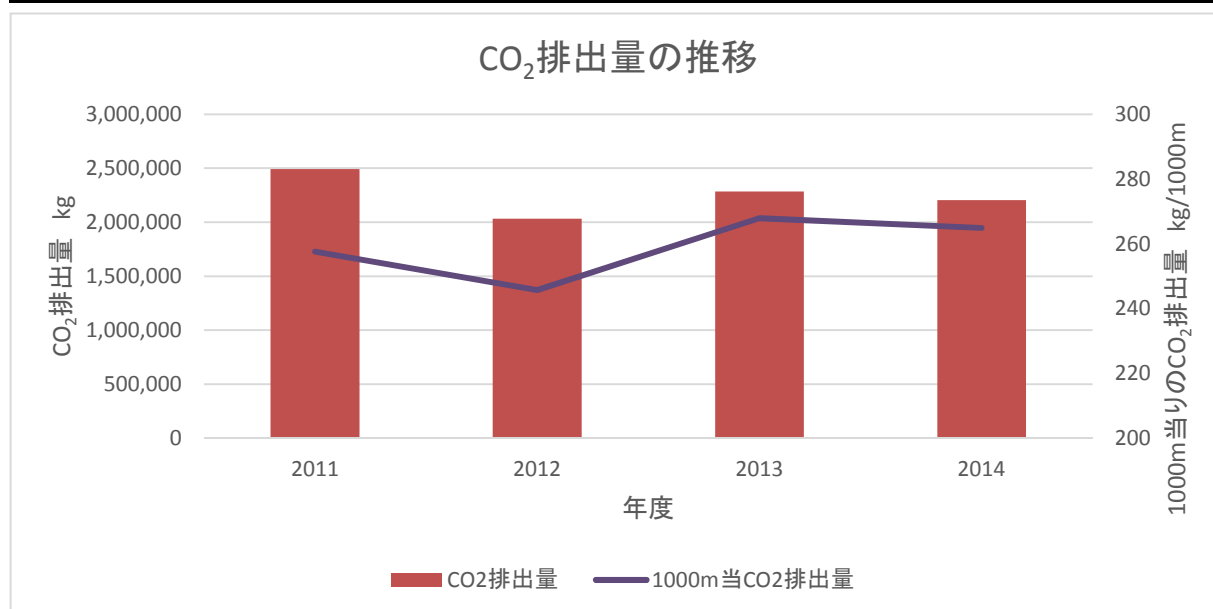
・ 11号機系統の処理機



10.環境関係データ

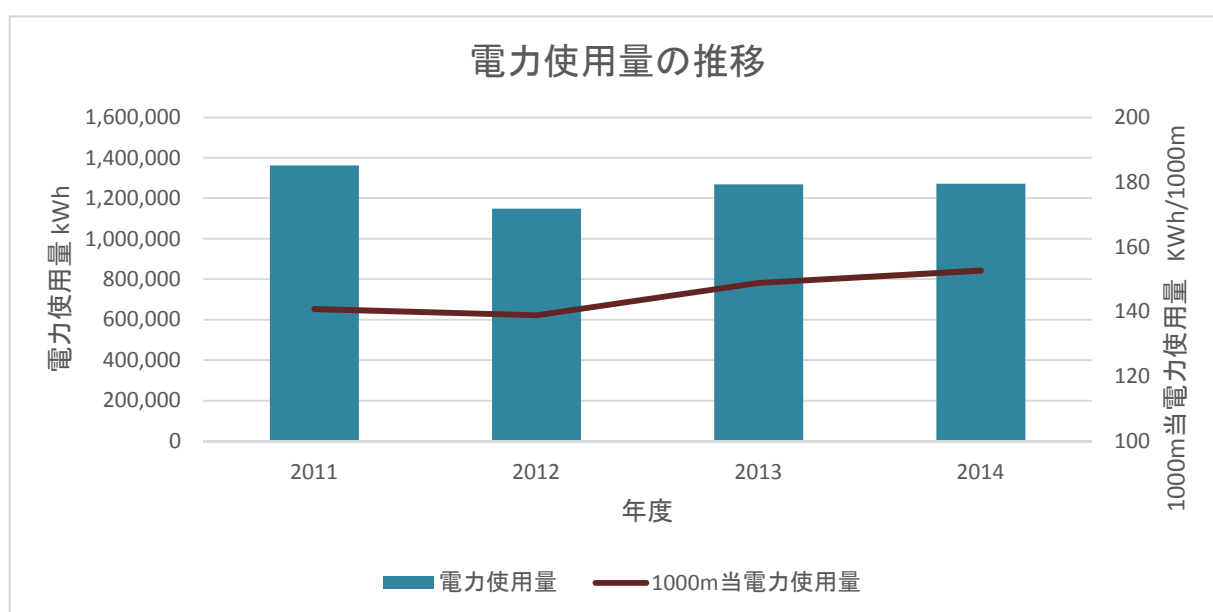
○ CO₂排出量の推移

年度	2011	2012	2013	2014	
CO ₂ 排出量	2,491,394	2,031,688	2,283,514	2,205,173	(kg)
1000m当CO ₂ 排出量	257.559	245.707	267.905	264.918	(kg/1000m)



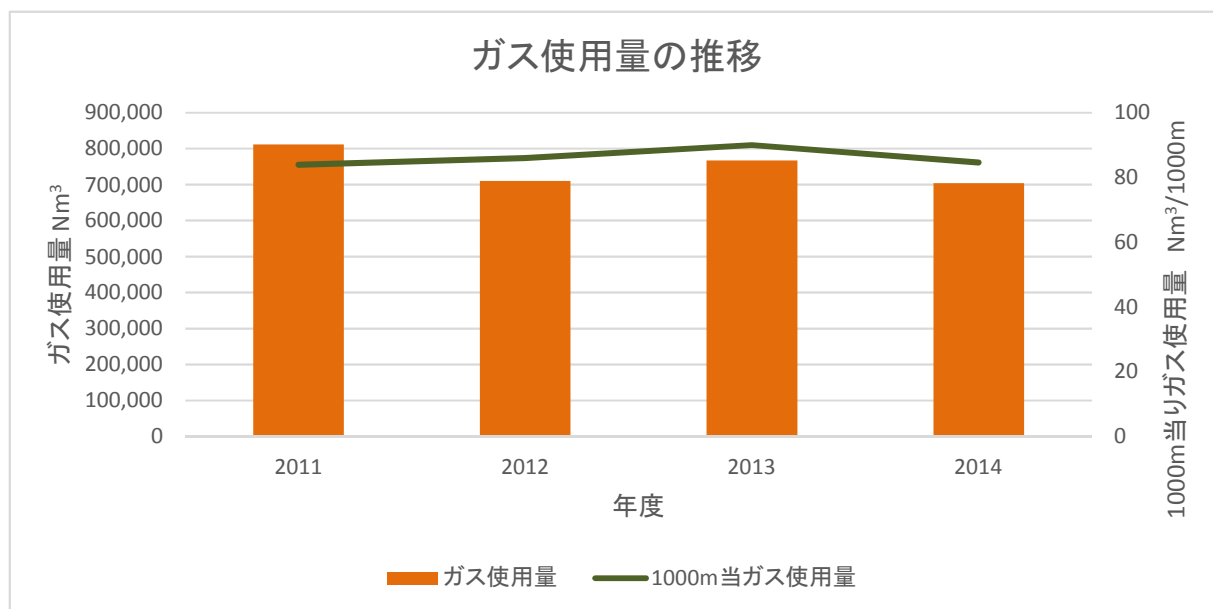
○ 電力使用量

年度	2011	2012	2013	2014	
電力使用量	1,362,368	1,148,332	1,268,792	1,270,722	(kWh)
1000m当電力使用量	140.841	138.877	148.856	152.658	(kWh/1000m)



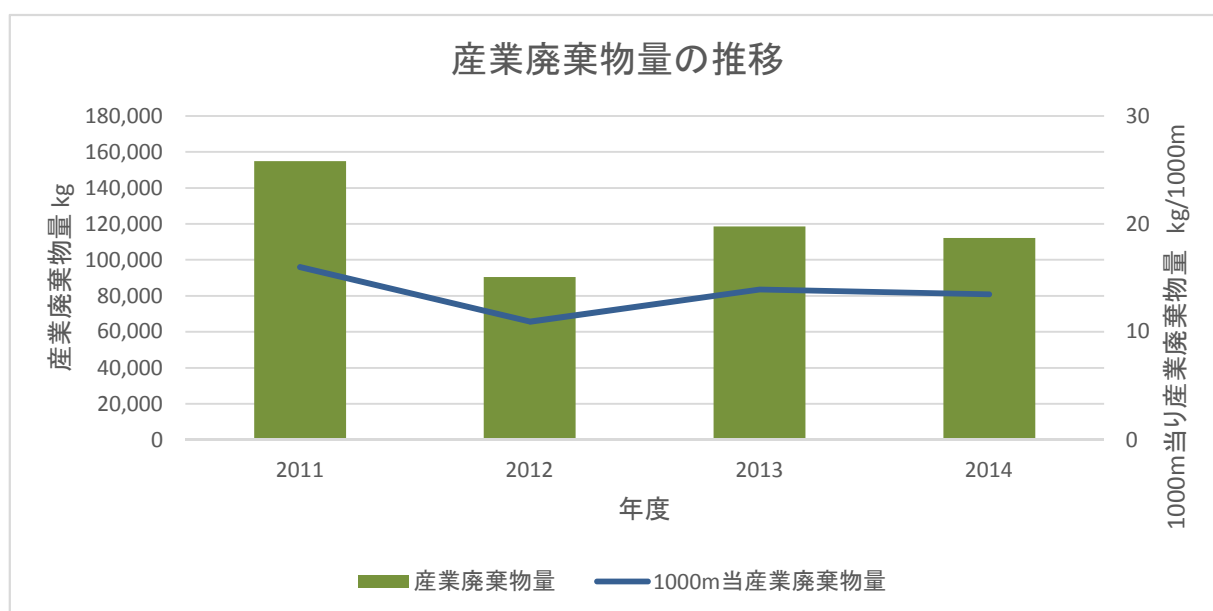
○ ガス使用量

年度	2011	2012	2013	2014	
ガス使用量	811,820	710,890	767,110	704,410	(Nm ³)
1000m当ガス使用量	83.926	85.973	89.998	84.624	(Nm ³ /1000m)



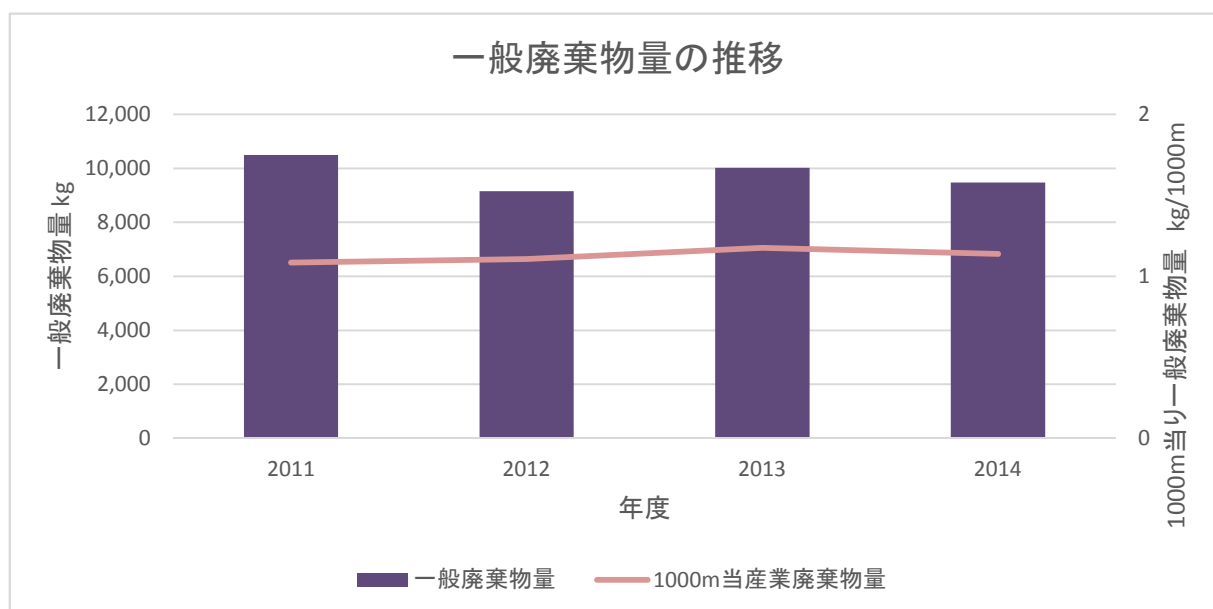
○ 産業廃棄物量

年度	2011	2012	2013	2014	
産業廃棄物量	154,810	90,470	118,630	112,250	(kg)
1000m当産業廃棄物量	16.004	10.941	13.918	13.485	(kg/1000m)



○ 一般廃棄物量

年度	2011	2012	2013	2014	
一般廃棄物量	10,500	9,150	10,020	9,470	(kg)
1000m当産業廃棄物量	1.085	1.107	1.176	1.138	(kg/1000m)



○ 工業用水／上水受水量

年度	2011	2012	2013	2014	
工業用水受水量	198,903	179,007	189,036	188,080	(m ³)
上水受水量	866	662	646	619	(m ³)

